

国際インドネシア債券オープン（毎月決算型）

愛称：ペランギ

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年11月10日～2019年5月9日

第 84 期決算日：2018年12月10日 第 87 期決算日：2019年3月11日

第 85 期決算日：2019年1月9日 第 88 期決算日：2019年4月9日

第 86 期決算日：2019年2月12日 第 89 期決算日：2019年5月9日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、インドネシアの国債等、インドネシア政府の出資比率が50%超の発行体が発行する債券、および国際機関債を実質的な主要投資対象とし、一部、インドネシアの社債等に投資することにより、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指して運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第89期末（2019年5月9日）

基準価額 6,810円

純資産総額 377百万円

第84期～第89期

騰落率 +0.0%

分配金合計(*) 300円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

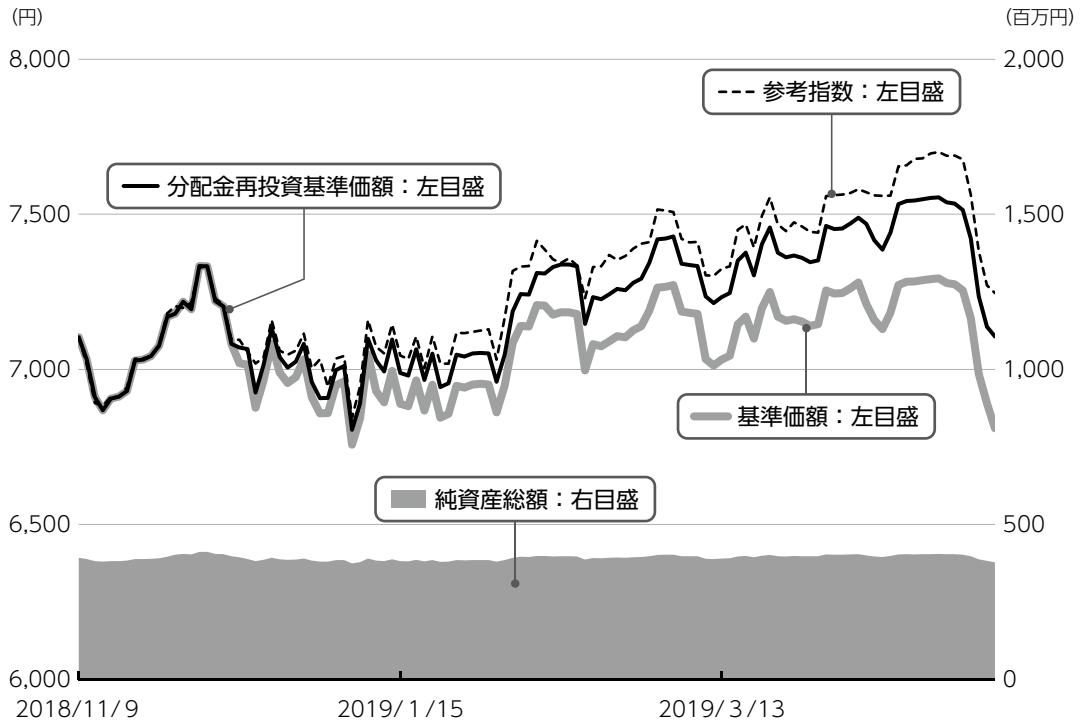
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第84期～第89期：2018年11月10日～2019年5月9日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 84 期 首	7,103円
第 89 期 末	6,810円
既払分配金	300円
騰 落 率	0.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べほぼ横ばい（分配金再投資ベース）となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有債券の利子収益を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

インドネシア・ルピアが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、F T S Eインドネシア国債インデックス（円ベース、国内投信用）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年11月10日～2019年5月9日

1万口当たりの費用明細

項目	第84期～第89期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	55	0.776	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(27)	(0.375)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	11	0.162	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.067)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(7)	(0.092)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	66	0.938	

作成期中の平均基準価額は、7,082円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

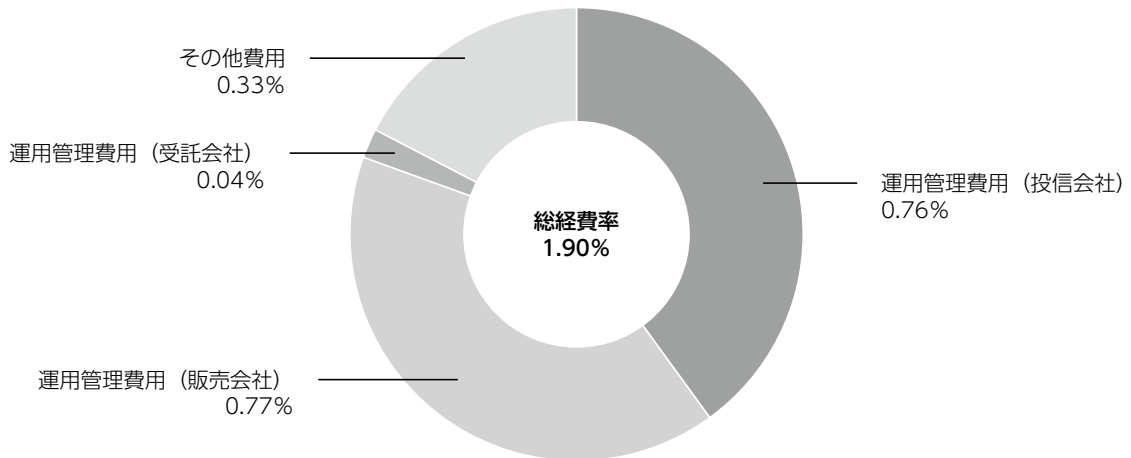
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.90%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

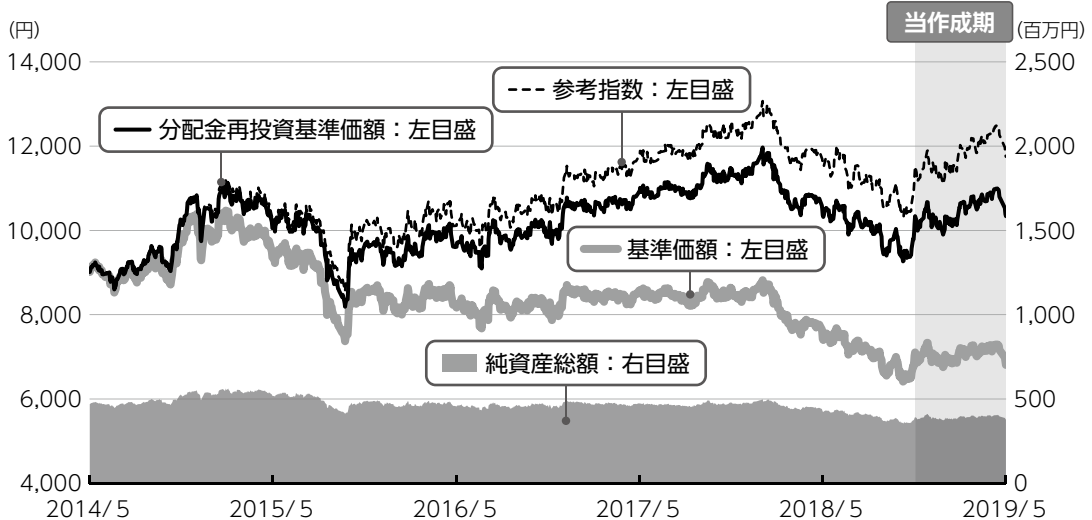
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年5月9日～2019年5月9日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2014年5月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/5/9 期初	2015/5/11 決算日	2016/5/9 決算日	2017/5/9 決算日	2018/5/9 決算日	2019/5/9 決算日
基準価額 (円)	9,015	9,320	8,170	8,511	7,429	6,810
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	740	720	720	690	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.8	-4.6	13.6	-5.1	-0.2
参考指数騰落率 (%)	—	13.8	-1.4	16.4	-1.6	1.5
純資産総額 (百万円)	469	517	455	471	424	377

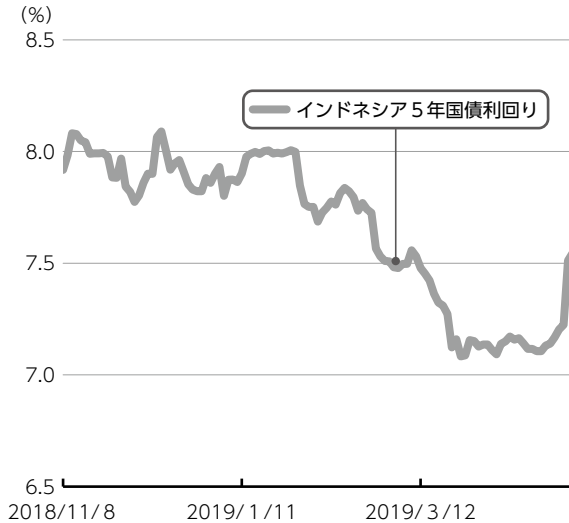
※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、FTSEインドネシア国債インデックス（円ベース、国内投信用）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第84期～第89期：2018年11月10日～2019年5月9日

投資環境について

利回りの推移



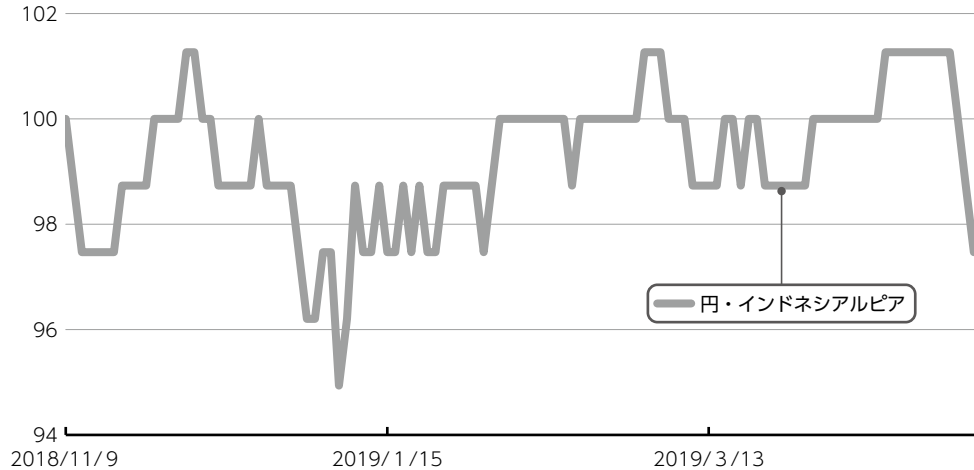
(注) 現地日付ベースで記載しております。

債券市況

インドネシア5年国債利回りは、作成期を通してみると低下しました。

作成期首から2019年4月中旬にかけては、1月末に開かれた米連邦準備制度理事会（FOMC）にて従来より緩和的な姿勢が示されたことや、同期間中にインドネシアの消費者物価指数（CPI）が減速したことなどから、インドネシアの5年国債利回りは、低下基調となりました。その後、作成期末にかけては、トルコの外貨準備高に対して懸念が高まったことや、欧州の景況感指標が予想を下回ったことなどから、新興国全般に対する投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを背景に、インドネシア5年国債利回りは上昇に転じましたが、作成期を通してみると、低下して終わりました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

インドネシア・ルピアは、作成期を通してみると対円で下落しました。

作成期首から、2018年12月末にかけては、主要国株式市場が下落するなど、投資家のリスクセンチメントが悪化する中、安全資産として円が買われたことなどを受け、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。その後、2019年4月中旬にかけては、FOMCの結果などを背景に、インドネシア・ルピアが買われ、対円で上昇しました。その後、期末にかけては、新興国全般に対する投資家センチメントの悪化などを受け、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。作成期を通してみると、インドネシア・ルピアは対円で下落して終わりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際インドネシア債券オープン（毎月決算型）

インドネシア債券オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ インドネシア債券オープン マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ0.8%の上昇となりました。

インドネシアの国債等（国債、政府保証債、政府機関が発行する債券等をいいます。）、およびインドネシア政府の出資比率が50%を超えている発行体の発行する債券ならびに国際機関債を主要投資対象とし、債券の組入比率は高位を保ちました。

インドネシア・ルピア建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインドネシア・ルピア建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行いました。

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

新興国全般へのリスクセンチメントや、同国のファンダメンタルズの改善が見込まれ、同国金利に低下余地があると判断し、2018年11月中旬にデュレーション*を参考指数対比中立から長めに変更しました。

*デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

前記の結果、インドネシア・ルピアが対円で下落したことなどがマイナス要因となったものの、債券利子収入を享受したことなどがプラス要因となり、基準価額は当作成期首に比べ上昇しました。

（ご参考）

■債券種別組入比率

作成期首（2018年11月9日）

種別	比率
国債証券	92.5%
特殊債券	4.0%
社債券	—
地方債証券	—

作成期末（2019年5月9日）

種別	比率
国債証券	93.9%
特殊債券	—
社債券	—
地方債証券	—

・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

（ご参考）

■格付別組入比率

作成期首（2018年11月9日）

格付種類	比率
A A A	4.0%
A A	—
A	—
B B B	92.5%
B B	—
B以下	—
格付けなし	—

作成期末（2019年5月9日）

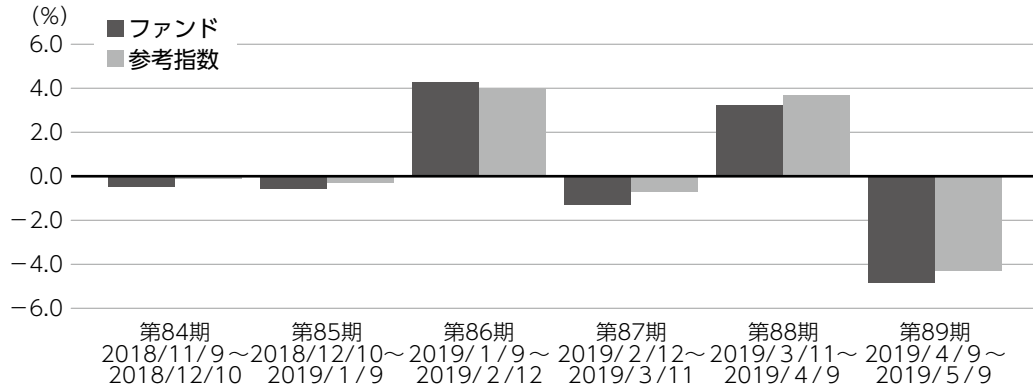
格付種類	比率
A A A	—
A A	—
A	—
B B B	93.9%
B B	—
B以下	—
格付けなし	—

・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 ・格付けは、Moody's、S & Pの格付けのうち、上位の格付けをS & Pの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

第84期～第89期：2018/11/10～2019/5/9

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はF T S E インドネシア国債インデックス（円ベース、国内投信用）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第84期 2018年11月10日~ 2018年12月10日	第85期 2018年12月11日~ 2019年1月9日	第86期 2019年1月10日~ 2019年2月12日	第87期 2019年2月13日~ 2019年3月11日	第88期 2019年3月12日~ 2019年4月9日	第89期 2019年4月10日~ 2019年5月9日
当期分配金 （対基準価額比率）	50 (0.707%)	50 (0.716%)	50 (0.692%)	50 (0.706%)	50 (0.689%)	50 (0.729%)
当期の収益	30	27	42	23	33	26
当期の収益以外	19	22	7	26	16	23
翌期繰越分配対象額	627	605	597	571	554	531

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際インドネシア債券オープン（毎月決算型）

インドネシア債券オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

▶ インドネシア債券オープン マザーファンド

運用環境の見通し

インドネシア国内においては、良好な個人消費や政府による積極的なインフラ投資を背景に、今後も底堅い経済成長を見込んでいます。一方で、インドネシアの債券市場は外国人の保有比率が高いことや、対外債務への依存度が相対的に高いことなどから、主要中央銀行の動向や新興国全般に対するリスクセンチメントの変化など、外的要因には注意が必要と考えます。

今後の運用方針

引き続き、インドネシアの国債等（国債、政府保証債、政府機関が発行する債券等をいいます。）、およびインドネシア政府の出資比率が50%を超えている発行体の発行する債券ならびに国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。

インドネシア・ルピア建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインドネシア・ルピア建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

インドネシアの財政・経常収支の動向や主要中央銀行の動向などを注視しつつ、デュレーションは参考指数対比長めを基本とし、機動的に対応する方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

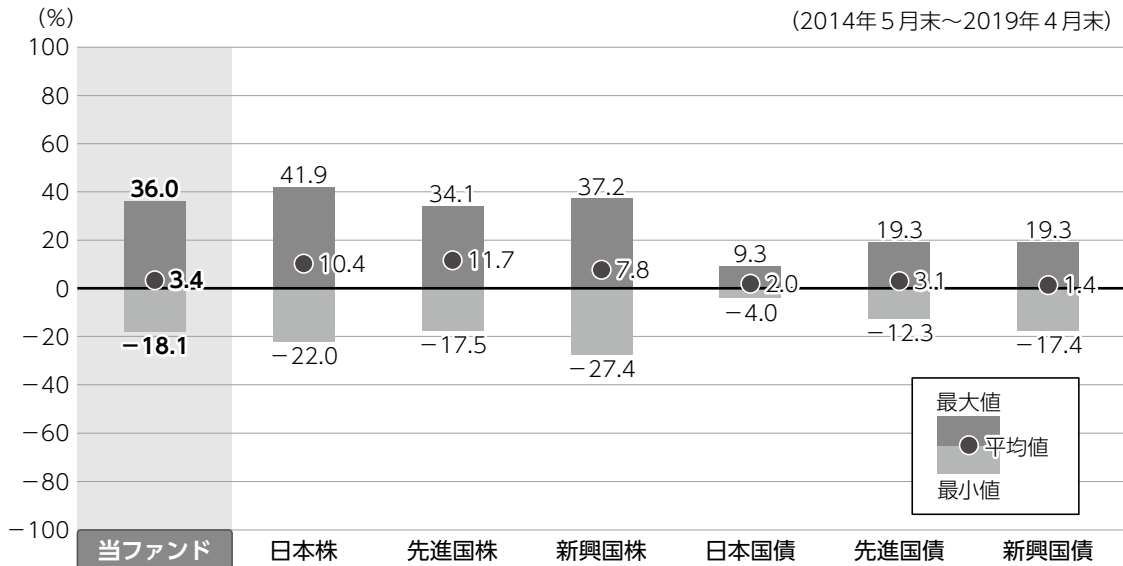
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2021年11月9日まで（2011年12月8日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド インドネシア債券オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■インドネシア債券オープン マザーファンド インドネシアの国債等（国債、政府保証債、政府機関が発行する債券等をいいます。）および政府の出資比率が50%を超えている発行体の発行する債券ならびに国際機関債</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアの国債等、インドネシア政府の出資比率が50%超の発行体が発行する債券、および国際機関債を主要投資対象とします。一部、インドネシアの社債等に投資する場合があります。 ・債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指します。
分配方針	毎月9日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年5月から2019年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年5月9日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第89期末 2019年5月9日
インドネシア債券オープン マザーファンド	99.7%

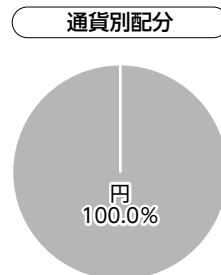
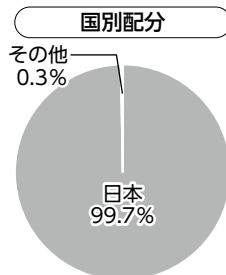
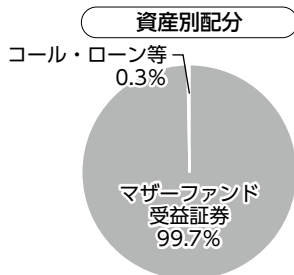
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第84期末 2018年12月10日	第85期末 2019年1月9日	第86期末 2019年2月12日	第87期末 2019年3月11日	第88期末 2019年4月9日	第89期末 2019年5月9日
純資産総額 (円)	393,697,636	383,076,657	396,266,552	388,884,252	399,217,368	377,401,684
受益権口数 (口)	560,803,737	552,874,112	552,214,923	552,966,823	553,737,702	554,195,725
1万口当たり基準価額 (円)	7,020	6,929	7,176	7,033	7,210	6,810

※当作成期間中（第84期～第89期）において追加設定元本は21,553,569円
同解約元本は 19,303,939円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

154043

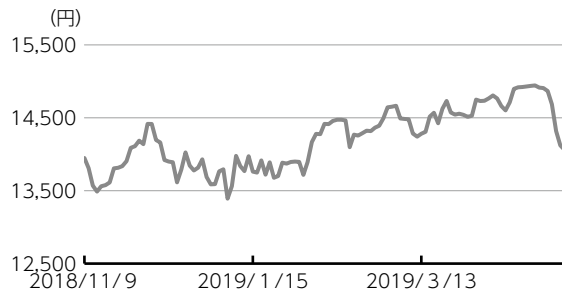
2019年5月9日現在

組入上位ファンドの概要

▶ インドネシア債券オープン マザーファンド

基準価額の推移

2018年11月9日～2019年5月9日



1万口当たりの費用明細

2018年11月10日～2019年5月9日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	23	0.160
（保管費用）	(10)	(0.068)
（その他）	(13)	(0.093)
合計	23	0.160

期中の平均基準価額は、14,214円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

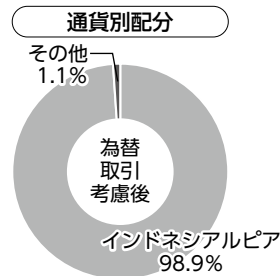
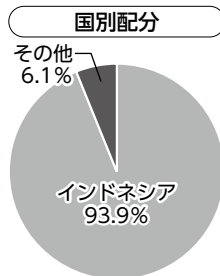
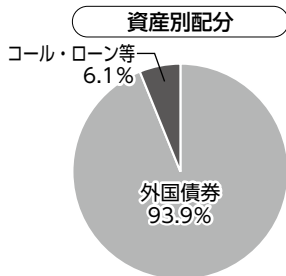
(組入銘柄数：18銘柄)

順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	6.625 INDONESIA 330515	債券	インドネシア	国債	11.1
2	8.25 INDONESIA 320615	債券	インドネシア	国債	10.3
3	8.375 INDONESIA 240315	債券	インドネシア	国債	9.8
4	7.5 INDONESIA 320815	債券	インドネシア	国債	9.4
5	5.875 INDONESIA 240115	債券	インドネシア	国債	6.5
6	6.125 INDONESIA 280515	債券	インドネシア	国債	6.0
7	7.5 INDONESIA 380515	債券	インドネシア	国債	5.8
8	8.125 INDONESIA 240515	債券	インドネシア	国債	5.5
9	5.625 INDONESIA 230515	債券	インドネシア	国債	5.2
10	8.375 INDONESIA 260915	債券	インドネシア	国債	5.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの
 余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『FTSEインドネシア国債インデックス（円ベース、国内投信用）』について

FTSEインドネシア国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、インドネシア国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信